

(別記)

日進市地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、耕地の約7割が水田で農業の主力は稲作である。しかし、名古屋市の東部に隣接しているという地理的条件もあり、第二種兼業農家がほとんどであり、1戸あたりの耕地面積も狭小で、高齢化や後継者不足から遊休農地が増えている。

こうした中、水稲作付面積の維持と、転作による水田面積の維持を図っていく必要がある。

2 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

低農薬の米作りの徹底により米の主産地としての地位を確保する。

(2) 非主食用米

飼料用米

主に主食用品種での対応とするが、新たな販路の開拓などによる需要の掘り起こしを行い、32年度には20haの生産を目指す。

(3) 麦

農機等の導入などにより、32年度には2haの生産を目指す。

(4) 高収益作物（野菜等）

産地交付金を活用し、地域振興作物として野菜・花き・花木の作付を推進し、32年度には野菜30ha、花き・花木2haの生産を目指す。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	平成 29 年度の作付面積 (ha)	平成 30 年度の作付予定面積 (ha)	平成 32 年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	238	236	238
飼料用米	16	18	20
米粉用米	0	0	0
新市場開拓用米	0	0	0
WCS 用稲	0	0	0
加工用米	0	0	0
備蓄米	0	0	0
麦	0	0	2
大豆	0.7	0.7	0.8
飼料作物	0	0	0
そば	0	0	0
なたね	0	0	0
その他地域振興作物			
野菜	30	30	30
花き・花木	2	2	2
果樹	1.5	1.5	1.5

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	目標	
				現状値	目標値
1	野菜	担い手による高収益作物生産への支援	野菜作付面積	(29 年度) 387a	(32 年度) 400a
2	花き	担い手による高収益作物生産への支援	花き作付面積	(29 年度) 5a	(32 年度) 15a
3	飼料用米	飼料用米の生産性・品質向上等に向けた取組	取組面積	(29 年度) 16a	(32 年度) 20a

※ 必要に応じて、面積に加え、当該取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定して下さい。

※ 目標期間は3年以内としてください。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり